地味だけど大切なこと「交通安全意識」

～安全運転管理推進事業所の指定を受けて～

社会福祉法人　梓友会
デイサービスセンター太陽の里
安全運転管理者：高橋　圭

○法人事業概要

下田市と賀茂地域に最高のケア
個人の選択権
生活の質を最大限にする
総括的な
高齢者の福祉サービスを提供する

社会福祉法人
梓　友　会

太陽の里

西伊豆町 にあります
人口 約6,900 人
高齢化率 52.6 % （県下ナンバーワン）

■事業内容
□通所介護（デイサービス）　定員３０名
□生きがい活動支援通所（西伊豆町委託事業）2種

□介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）定員３０名
□短期入所生活介護（ショートステイ）　定員１０名

取り組んだ背景と課題

- デイサービスは送迎業務が不可欠
- 介護職員は運転するのが当たり前

⬇

- 送迎ルートは道路状況の良い場所ばかりではない
- 観光シーズンは交通量が増え、慣れないドライバーも増える

⬇

- 事故が起きると職員は自分を責める

⬇

- 一緒に働く仲間が犯罪者になる可能性があるのが送迎業務

交通事故や交通違反の当事者にならない取り組みは常に重要課題

- バックカメラ・ドライブ
  レコーダーの設置
- 職員の安全運転教育
- 運転適性検査
- 送迎ルートを警察官と試走
- ヒヤリハットマップの作製
- 定期的な注意喚起

令和3年度 安全運転管理推進事業所の指定

「安全運転管理推進事業所」とは、

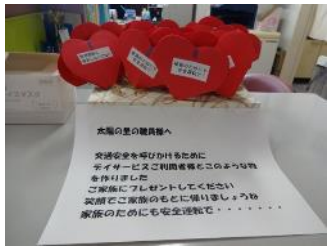
自社の利益と発展はもとより、社会全体の安全に寄与するために指定される

社内の安全管理を充実し、業務の内外を問わず、従業員の交通事故防止を図りながら、県内全事業所従業員の安全に対する意識を高めることを目的としています

- 高齢者のための
  交通安全教室を開催

- デイサービス利用者と一緒に
  交通安全の啓発グッズを作製

- 交通安全グッズを配布



- 町内で開かれるイベントに積極的に参加

町の課題の一つ

人口減少、高齢化、さまざまな需要の増加

- 限りある地域の人材資源が有効活用できるか
- 今後も同じように介護サービスが受けられるか
- 主な交通手段（買い物・通院・就労・通学）が自家用車
- 高齢化に伴い免許返納者が増加、交通弱者が増える

解決策を探っていかなければ！！

西伊豆町 と **西伊豆町社会福祉協議会**と

町内の介護施設 と 福祉介護・共同送迎サービス

「ゴイッショ」の開発者である

ダイハツ工業株式会社 と

西伊豆町で**「共同送迎を行ったら？」**の調査・検証を

行いました

福祉介護・共同送迎サービス「ゴイッショ」

単独で行っている送迎業務を

各施設から切り離すことを考え

新たな運行団体（自治体など）が

複数の介護施設の送迎をまとめて担うものです

検証方法

協力が得られた町内の介護施設の、送迎地域の範囲 ・ ドライバー状況
送迎コスト（人件費・車両費・時間)などを調査、結果をもとに検証

経営者アンケート	7 事業所
施設職員アンケート	42 名
共同送迎シミュレーション	町内の通所介護施設へ通う、利用者 318 名 の居住地調査から「共同送迎実施」の可能性を探った

調査結果

人手不足（新規採用が難しい）の声が最も多かった

- 介護職を目指す若い人材が少ない
- 人員基準ぎりぎりの運営が続いている
- 職員も高齢化（70歳も在籍）退職リスク高い

複数施設の車両が同じエリア時間に3施設～5施設（曜日違い）混在

- 共同送迎導入で（要介護2まで）、西伊豆町全域で

  車両台数　29 台 → 21 台　　28 %　削減　　など
- 送迎コスト減の効果的が得られる
- 介護士から運転業務を切り離せたら、職員の負担軽減
- 本来の業務（介護）の時間が増え、質の向上になると推測

調査協力を行って

「送迎なし」って「魅力的」でも・・・・

要介護2までのご利用者の顔が浮かぶ

「適切なケアで改善することが大いに期待できる時期」

「誰かが気づいてあげられなかった些細なことで重度化」

毎回の送迎で、自宅での様子を見ることで、気づくことが大きい

「気づき」「感じた事」「家族との些細な会話」が、現在、ケアに活かされている

わたしたちが送迎する、意義の大きさ、大切さを、自覚する機会となった

活動の成果と評価

安全運転管理推進事業所の指定を受けて活動できたことで

〇交通安全意識を更に高めることができた

〇警察署を始めとする各団体との連携や指導で交通安全管理の手法を学べた

〇令和3年度・令和4年度は、損害事故「0」を達成した

〇交通事故防止の学習は介護事故防止に通じている

〇事業所内の活動を、地域へ広げることができた

〇他の業界との関りから、発想の転換や刺激を受けることができた

〇送迎の気づきをケアに活かし、ＱＯLの向上につなげた、成功体験の共有から職員が送迎する重要性を実感し、喜びを分かち合い、ケアの専門性に自信を持ち、送迎業務を前向きにとらえて働けています

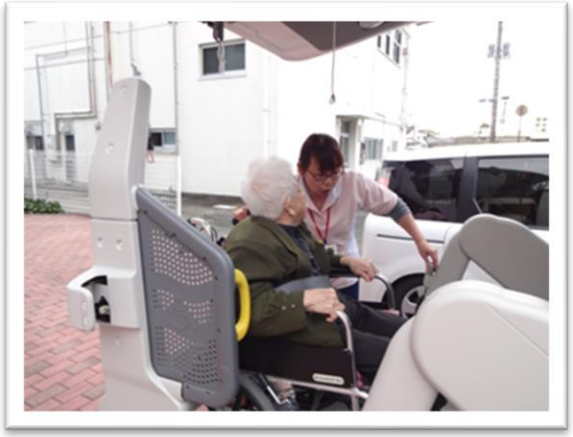
課題

○　人材確保・人材の教育・人材育成

○　高齢者が多く、主な交通手段が、自家用車の

西伊豆町における、高齢者の交通安全教育

○　安心安全な送迎業務の実施



身近な大切な方へ
笑顔・一声

交通安全でお過ごしください